

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年4月10日
【四半期会計期間】	第47期第2四半期（自平成24年12月1日至平成25年2月28日）
【会社名】	旭化学工業株式会社
【英訳名】	ASAHI KAGAKU KOGYO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 杉浦 武
【本店の所在の場所】	愛知県碧南市港南町二丁目8番地14 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	愛知県安城市城ヶ入町広見133番地3
【電話番号】	（0566）92-4181（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 奥村 哲男
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第2四半期 連結累計期間	第47期 第2四半期 連結累計期間	第46期
会計期間	自平成23年 9月1日 至平成24年 2月29日	自平成24年 9月1日 至平成25年 2月28日	自平成23年 9月1日 至平成24年 8月31日
売上高(千円)	3,374,673	3,056,118	6,436,916
経常利益(千円)	201,515	89,597	357,529
四半期(当期)純利益(千円)	135,098	57,570	262,418
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	110,931	329,533	244,042
純資産額(千円)	4,532,708	4,940,577	4,651,184
総資産額(千円)	5,455,298	5,841,236	5,570,505
1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円)	37.02	15.78	71.91
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	83.09	84.58	83.50
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	302,473	97,481	591,978
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	74,503	643,884	274,460
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	51,207	40,179	65,875
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	1,111,770	707,985	1,183,076

回次	第46期 第2四半期 連結会計期間	第47期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年 12月1日 至平成24年 2月29日	自平成24年 12月1日 至平成25年 2月28日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	17.90	5.36

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（１）業績の状況

当第２四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の財政危機は落ち着きを取り戻したものの、中国経済の成長力に鈍化の傾向がみられ、景気の回復にはほど遠い状況で推移しました。わが国経済は政権交代による新政権の金融緩和政策による円安、株価の上昇と景気回復への期待感は増しておりますが、日中間の政治問題等先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、主な販売先であります電動工具業界及び自動車業界に対して積極的な受注活動を推進いたしました。価格面での厳しい競争が続きました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は30億56百万円（前年同四半期比9.4%減）となり、経常利益は89百万円（同55.5%減）、四半期純利益は57百万円（同57.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本

国内は、自動車向け部品、電動工具向け部品共に受注が低迷し、売上高は15億37百万円（前年同四半期比14.7%減）、営業利益は0百万円（同99.6%減）となりました。

中国

中国は、電動工具向け部品の受注がやや減少し、売上高は15億63百万円（同4.4%減）、営業利益は73百万円（同48.3%減）となりました。

タイ

タイは、当第２四半期連結累計期間より販売が開始され、売上高は5百万円、営業損失は32百万円（前年同四半期は営業損失16百万円）となりました。

資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

資産合計は前連結会計年度末と比べ2億70百万円増加し58億41百万円（前連結会計年度末比4.9%増）となりました。これは主に受取手形及び売掛金が67百万円及び有形固定資産が5億7百万円増加し、現金及び預金が3億76百万円減少したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べ18百万円減少し9億0百万円（前連結会計年度末比2.0%減）となりました。これは主に買掛金が75百万円増加し、未払法人税等が36百万円及びその他の流動負債が69百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産の合計は前連結会計年度末と比べ2億89百万円増加し49億40百万円（前連結会計年度末比6.2%増）となりました。これは主に利益剰余金が17百万円及び為替換算調整勘定が2億44百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（２）キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ4億75百万円減少し7億7百万円（前年同四半期比36.3%減）となりました。

当第２四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりであります。

営業活動の結果獲得した資金は97百万円（前年同四半期は3億2百万円の資金の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益93百万円、減価償却費1億0百万円、法人税等の支払額64百万円等の要因によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は6億43百万円（前年同四半期は74百万円の資金の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出6億2百万円等の要因によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は40百万円（前年同四半期は51百万円の資金の支出）となりました。これは主に、配当金を40百万円支払ったことによるものであります。

（３）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第２四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（４）研究開発活動

当第２四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は2百万円であります。なお、当第２四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,720,000
計	12,720,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年2月28日)	提出日現在発行数(株) (平成25年4月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,896,000	3,896,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	3,896,000	3,896,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年12月1日～ 平成25年2月28日	-	3,896,000	-	671,787	-	717,689

(6) 【大株主の状況】

平成25年2月28日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
杉浦 求	愛知県碧南市	466	11.98
杉浦 武	愛知県碧南市	437	11.23
有限会社 旭	愛知県碧南市天神町4-69	421	10.81
近藤忠彦	愛知県碧南市	210	5.39
株式会社三幸商会	愛知県名古屋市千種区内山3-3-2	151	3.89
竹内邦治	愛知県碧南市	147	3.77
旭化学工業取引先持株会	愛知県安城市城ヶ入町広見133-3	135	3.49
岡崎信用金庫	愛知県岡崎市菅生町字元菅41	110	2.82
杉浦 鑑一	愛知県碧南市	91	2.35
杉浦 誠	愛知県碧南市	89	2.30
計	-	2,260	58.03

(注) 上記のほか、自己株式が246千株あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 246,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,648,000	36,480	-
単元未満株式	普通株式 1,100	-	-
発行済株式総数	3,896,000	-	-
総株主の議決権	-	36,480	-

【自己株式等】

平成25年2月28日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
旭化学工業(株)	愛知県碧南市港南 町二丁目8番地14	246,900	-	246,900	6.34
計	-	246,900	-	246,900	6.34

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年12月1日から平成25年2月28日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年9月1日から平成25年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,809,206	1,433,114
受取手形及び売掛金	935,514	1,003,493
商品及び製品	160,903	143,142
仕掛品	67,776	81,437
原材料及び貯蔵品	110,628	134,182
繰延税金資産	18,178	9,228
その他	71,398	93,390
貸倒引当金	490	510
流動資産合計	3,173,116	2,897,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	735,430	728,965
機械装置及び運搬具(純額)	483,344	721,249
土地	917,280	932,092
その他(純額)	131,546	392,686
有形固定資産合計	2,267,601	2,774,993
無形固定資産	9,385	11,753
投資その他の資産		
投資有価証券	92,541	128,894
その他	31,037	31,293
貸倒引当金	3,176	3,176
投資その他の資産合計	120,401	157,010
固定資産合計	2,397,388	2,943,758
資産合計	5,570,505	5,841,236
負債の部		
流動負債		
買掛金	598,743	673,945
未払法人税等	52,012	15,497
賞与引当金	25,955	26,838
役員賞与引当金	13,280	4,850
その他	191,831	122,689
流動負債合計	881,823	843,821
固定負債		
繰延税金負債	2,228	16,898
役員退職慰労引当金	35,269	37,016
その他	-	2,922
固定負債合計	37,497	56,836
負債合計	919,321	900,658

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	671,787	671,787
資本剰余金	729,938	729,938
利益剰余金	3,646,270	3,663,701
自己株式	132,908	132,909
株主資本合計	4,915,087	4,932,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,393	46,790
為替換算調整勘定	283,296	38,730
その他の包括利益累計額合計	263,903	8,059
純資産合計	4,651,184	4,940,577
負債純資産合計	5,570,505	5,841,236

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
売上高	3,374,673	3,056,118
売上原価	2,921,967	2,726,263
売上総利益	452,706	329,855
販売費及び一般管理費	253,231	260,768
営業利益	199,474	69,086
営業外収益		
受取利息	8,635	13,839
受取配当金	558	522
為替差益	-	4,271
その他	3,410	1,937
営業外収益合計	12,604	20,571
営業外費用		
支払利息	-	60
為替差損	10,500	-
その他	63	-
営業外費用合計	10,564	60
経常利益	201,515	89,597
特別利益		
固定資産売却益	701	-
投資有価証券売却益	6,592	6,046
特別利益合計	7,294	6,046
特別損失		
固定資産売却損	352	309
固定資産除却損	15	0
就業補償金	246	1,558
特別損失合計	615	1,868
税金等調整前四半期純利益	208,194	93,775
法人税、住民税及び事業税	70,446	27,270
法人税等調整額	2,649	8,933
法人税等合計	73,096	36,204
少数株主損益調整前四半期純利益	135,098	57,570
四半期純利益	135,098	57,570

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	135,098	57,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,143	27,396
為替換算調整勘定	27,310	244,566
その他の包括利益合計	24,166	271,962
四半期包括利益	110,931	329,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,931	329,533
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	208,194	93,775
減価償却費	98,100	100,841
賞与引当金の増減額(は減少)	2,486	332
役員賞与引当金の増減額(は減少)	4,840	8,430
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,648	1,746
貸倒引当金の増減額(は減少)	33	20
受取利息及び受取配当金	9,194	14,362
支払利息	-	60
投資有価証券売却損益(は益)	6,592	6,046
為替差損益(は益)	1,817	3,455
有形固定資産売却損益(は益)	348	309
有形固定資産除却損	15	0
売上債権の増減額(は増加)	32,368	26,229
たな卸資産の増減額(は増加)	20,874	2,869
その他の流動資産の増減額(は増加)	5,976	10,670
仕入債務の増減額(は減少)	19,373	42,208
未払費用の増減額(は減少)	2,378	392
未払消費税等の増減額(は減少)	3,434	10,498
その他の流動負債の増減額(は減少)	5,723	1,591
小計	327,620	154,868
利息及び配当金の受取額	6,910	7,178
利息の支払額	-	60
法人税等の支払額	32,056	64,504
営業活動によるキャッシュ・フロー	302,473	97,481
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	91,442	172,136
定期預金の払戻による収入	120,000	120,000
投資有価証券の取得による支出	3,794	3,331
投資有価証券の売却による収入	15,391	15,103
有形固定資産の取得による支出	110,203	602,867
有形固定資産の売却による収入	1,078	618
無形固定資産の取得による支出	4,329	193
投資その他の資産の増減額(は増加)	1,204	1,077
投資活動によるキャッシュ・フロー	74,503	643,884
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	-	176
自己株式の取得による支出	46	0
配当金の支払額	51,160	40,003
財務活動によるキャッシュ・フロー	51,207	40,179
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,552	111,491
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	165,210	475,090
現金及び現金同等物の期首残高	946,560	1,183,076
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,111,770	707,985

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
給与賞与	53,508千円	66,752千円
荷造運搬費	53,239	46,093
賞与引当金繰入額	5,052	2,776
役員賞与引当金繰入額	6,850	1,610
退職給付費用	1,015	1,320
役員退職慰労引当金繰入額	1,648	1,746
貸倒引当金繰入額	33	20

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
現金及び預金勘定	1,596,435千円	1,433,114千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	484,664	725,128
現金及び現金同等物	1,111,770	707,985

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年2月29日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月29日 定時株主総会	普通株式	51,089	14.00	平成23年8月31日	平成23年11月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月10日 取締役会	普通株式	14,596	4.00	平成24年2月29日	平成24年5月28日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年2月28日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月27日 定時株主総会	普通株式	40,139	11.00	平成24年8月31日	平成24年11月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月9日 取締役会	普通株式	14,596	4.00	平成25年2月28日	平成25年5月27日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	中国	タイ	計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1,801,933	1,572,740	-	3,374,673	-	3,374,673
セグメント間の内部売上高又は振替高	280	63,268	-	63,548	63,548	-
計	1,802,213	1,636,008	-	3,438,221	63,548	3,374,673
セグメント利益又は損失()	45,272	141,757	16,509	170,520	28,954	199,474

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	中国	タイ	計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1,536,936	1,514,098	5,083	3,056,118	-	3,056,118
セグメント間の内部売上高又は振替高	79	49,355	-	49,435	49,435	-
計	1,537,016	1,563,453	5,083	3,105,554	49,435	3,056,118
セグメント利益又は損失()	180	73,300	32,485	40,995	28,090	69,086

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 9 月 1 日 至 平成24年 2 月29日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 9 月 1 日 至 平成25年 2 月28日)
1 株当たり四半期純利益金額	37円02銭	15円78銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	135,098	57,570
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	135,098	57,570
普通株式の期中平均株式数 (千株)	3,649	3,649

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年 4 月 9 日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 中間配当による配当金の総額 14,596千円
- (ロ) 1 株当たりの金額 4 円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成25年 5 月27日

(注) 平成25年 2 月28日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主もしくは登録株式質権者に対し支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年4月9日

旭化学工業株式会社
取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和田 芳幸 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐野 正人 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている旭化学工業株式会社の平成24年9月1日から平成25年8月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年12月1日から平成25年2月28日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年9月1日から平成25年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、旭化学工業株式会社及び連結子会社の平成25年2月28日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。